

株式会社ジェイコムイースト 仙台キャベツ局

2017年度 第45回放送番組審議会 議事録

2017年度の放送番組審議会は、2018年3月29日(木)に仙台キャベツ局で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

— ご出席 —

飯塚 久美子 様	川口 浩晃 様	今野 薫 様
三浦 良 様	渡部 洋平 様	

事業者側から局の現況報告、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【審議・質疑応答】(今野委員長による進行)

◆特番放送について

委員 昨年度に比べて、番組数・番組内容ともに充実していると感じる。長時間のお祭りの生中継は、人ごみに行くことが困難な方でも自宅でゆったり行事を体感できると思う。

委員 お祭り生中継を見たその後で、実際に行けるようなタイミングでの放送はとても良い。

◆「デイリーニュース」について

委員 新聞における県内版の映像を見ている感じ。民放では取り上げられないニュース映像を見られるのでとても良い

◆「じもと百景」について

委員 風景と音楽のみの放送でリラクゼーション効果がある。アングルも素敵でドローン映像も迫力がある。これからも地域の美しい映像をたくさん放送していただきたい。第2弾として動物バージョンの制作を要望する。

委員 綺麗な映像を隠したくないのは理解できるが、映像についてテロップ等で必要最低限の解説が欲しい。

事業者 良いアイデアをいただいたので、映像の見せ方を検討していきたい。

◆番組全体について

委員 地元密着の番組制作への取り組みを評価する。地元の大きなお祭りだけではなく、町内会レベルのお祭り情報も取り上げていただけると地域活性にもつながると思う。イベントカレンダー的に事前のイベント告知をしていただけると週末計画が立て易くなると思う。

事業者 来年度以降もローカルコンテンツの拡充を目指している。エリアを細分化した町内会単位の番組企画についても検討しており、来年度での実施を検討していきたい。

◆地域情報アプリ「ど・ろーかる」について

委員 いつでもどこでも見られ、見逃しがなく見られるのが良い。

故郷のニュースや定点カメラからの景色を見て懐かしんだり、離れて暮らしている子どもの住んでいる地域のニュースを見たり、様々な情報を入手できる。防災情報が入ることで更に良いアプリになると思う。

事業者 防災情報の取り込みについては全社的にも議論をしている段階である。また、一般の方からの動画投稿の仕組みについても検討しており、今後、どんどん改修を重ねていく予定である。

◆ジェイコムマガジンについて

委員 昨年10月のリニューアルにより誌面内容は充実したと思うが、コミュニティチャンネルのページが巻末ページとなり、場所が探しにくくなったことにもったいなさを感じる。

事業者 リニューアルについてはコミュニティチャンネル認知度向上のために実施したものであり、様々な意見を集約した形となっている。今後も更にブラッシュアップをしてより良いマガジンとしていきたいと考えている。

◆その他のご意見

委員 無料3ヶ月モニターなどを実施してはいかがか？感想をフィードバックしてもらうことにより、熱心に視聴いただくことができ良い番組があることを知ってもらうキッカケとなると思う。

委員 テレビ側からの一方通行ではなく、例えばプレゼント応募の形で視聴者コメントを集めるなど、視聴者とのコミュニケーションを持てれば、また変わってくるのではないかと思う。

委員長 テレビ放送では、情報を前出しとすると文字情報となり、後出しとすると映像は撮れるが情報が古くなってしまうので、放送のタイミングが難しいと感じている。

また、ひとつの切り口としてFDAで就航する出雲の映像をコミュニティチャンネルで放送してみるのも良いと思う。

事業者 本日いただいたご意見をもとにチャンネル編成・番組内容の向上に努め、地域に愛される企業として推進していきたい。

以上